

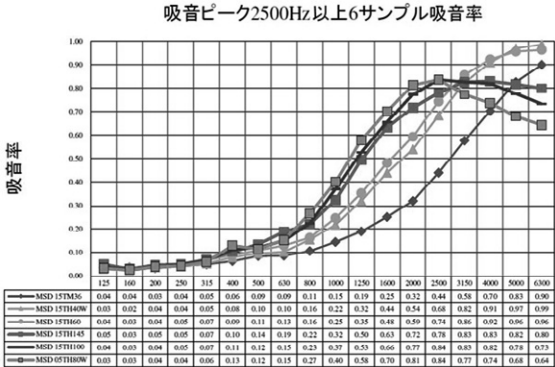


◆ 廣瀬製紙株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	吸音性能向上不織布のニーズ調査
実施期間	令和2年6月～令和3年2月
企業名	廣瀬製紙株式会社
研究調査概要	<p>湿式不織布と多孔質吸音材を組み合わせる事で、高い吸音性能を発揮する事が分かっている。複合吸音材を使用するメリットとして、省スペース性能と高い吸音性能、吸音したい周波数のコントロールが可能である点が上げられるが、アプリケーション毎に要求物性が異なるため、ニーズに沿った提案が必要不可欠である。また、湿紙不織布と相性の良い多孔質吸音材の選定も非常に重要であり、世の中のニーズを調査した。</p>
研究調査成果	<p>多孔質吸音材は、コストの安い繊維系(グラスウールや乾式不織布)とコストが高い発泡系(ウレタンフォームなど)に分けられる。前者は薄い状態でも高い吸音性能を有するため、自動車・建築用途などで多く使用されている。一方でマイクロ繊維の脱落が課題であり、精密機器や人が触れる用途では敬遠されてきた。後者は繊維の脱落が無くクリーンだが、薄い状態では吸音性能が低く、高い吸音性能を出すには厚みが必要で搭載性に難がある事が分かった。用途調査とマーケティングを行うことで、既存の材料の強みを活かしつつ、湿式不織布の強みを活かせる発泡ウレタンメーカーとの協業関係になることに成功した。その後、データ取得やサンプル作製を行い、展示会へ出展し約10社のメーカーに興味を持っていただくことに成功した。自動車・建築・音響設備・家電メーカーからの引き合いがあり、これまで吸音材を使用できなかった用途への展開の可能性を見出した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1.作成した吸音材</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2.展示会出展時の写真</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図3.吸音率データ</p> </div> </div>

【本研究内容に関する問合せ先】
 高知県土佐市高岡町丙529番地イ
 廣瀬製紙株式会社
 (URL: <https://www.hirose-paper-mfg.co.jp/>)

担当:技術開発グループ 坂本 成隆
 TEL:088-852-1151
 E-mail:m-sakamoto@hirose-paper-mfg.co.jp



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。
<https://www.jka-cycle.jp/>